

はじめに

沖縄県内における開発・整備事業に係る環境アセスメントやモニタリング、その他環境保全・創造に関する各種調査・分析業務は年々拡大してきております。さらにここ数年は、貴重種の保護にとどまらず、生態系の保全・復元・再生やダイオキシン・環境ホルモンに代表されます環境リスクへの対応についても従来以上に高度な技術が求められています。一方、沖縄の優れた環境や豊かな生態系の保全のためには、地域に密着した仕事ますます重要になります。

そこで、平成11年度以降、生態系の調査・解析には欠かせない生物飼育実験施設や化学分析室を併設した新社屋の建設を沖縄・那覇地区にて検討していたところ、平成13年4月に地理的条件の良い那覇新都心の地を地域振興整備公団沖縄都市開発事務所の一般公募の末に譲渡・引渡いただきました。

その後、設計、施工から完成まで約1年2ヵ月という短期間ではありましたが、設計者・施工者との定期的な調整会

議を重ねながら予定通り施工し、平成14年6月6日(木)には約60名のお客様をお迎えして開所式を挙げていただきました。

以下、この沖縄新社屋をご紹介します。



沖縄新社屋 完成写真



干潟生態系を創出した
展示池(正面)

沖縄新社屋案内図



新社屋の立地条件

北緯26度の亜熱帯地域に位置する沖縄は、東京から南西1,600km(約2時間半)にあり、その他の主要都市からも多くの発着便が運行される交通の便の整った環境にあります。沖縄の玄関口是那覇空港、そこから車で国道332号線～国道58号線を走ること15～20分にて那覇市安謝2丁目6番19号:国土環境(株)沖縄支店・沖縄環境調査(株)に着きます。「安謝」は「アジャ」と読みます。国道58号線は沖縄本島の最大の幹線国道で、まさに沖縄本島経済の大動脈になっています。沖縄新社屋はその国道58号線に面しており、那覇市内の国の機関や沖縄県庁、那覇市役所にも近く、地理的条件は抜群の位置にあります。また、平成15年度開業予定の都市モノレール(那覇空港～首里:愛称「ゆいレール」)の駅が那覇新都心東部に2駅でき、モノレール古島駅からは徒歩で15～20分の距離になります。

